

被災住宅を補修したことを、建築士または補修工事施工者に証明してもらった書類です。申請者本人が作成することはできません。被災箇所の被災状況（補修前）と完了した補修工事（補修後）の状況を確認した建築士または補修工事施工者に作成を依頼してください。作成の際は、専用の書式をホームページからダウンロードするか、書式を切り取り、「補修工事内容確認書（次ページ参照）」と共に作成してください。

住まいの復興給付金制度
記入見本

確認を行った者が記入。
※申請者は記入できません。

補 修 工 事 証 明 書

申請者	住 所	宮城県〇〇市△△町1-1-1		a
	氏 名	復興 順一		
所在地		宮城県〇〇市△△町1-1-1		
工事完了年月日		平成 令和 31年 4月 19日		

補修工事を行った被災箇所
補修工事を行った被災箇所をすべて記入し、被災箇所数に応じて（別紙）補修工事内容確認書をご提出ください。

番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	b
1	1階リビングの床	6		
2	1階寝室の内壁	7		
3		8		
4		9		
5		10		

上記の被災箇所について、「住まいの復興給付金制度」の対象となる補修工事が行われていたことを証明します。

証 明 年 月 日	令和 △△年 □□月 ○○日			c
確認を行った者	工事施工者名 または 建築士事務所名	設計 一郎		
	所 在 地	宮城県△△市〇〇町3-3-3		
	電 話 番 号	022 - 777 - □□□□		
	許 可 番 号	※確認を行った者が工事施工者で、建設業の許可を受けている場合は、許可番号を記入してください。 建築業許可 <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通大臣 () 第 () 号 いづれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> () 知事 () 第 () 号		
	担 当 者 名			

確認を行った者が建築士の場合は以下も記入してください。

確認を行った 建築士の情報	建築士免許	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士	d	
	登録番号	123456	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合)			
	事務所の 種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士事務所		
	登録年月日	昭和60年10月1日	登録番号	宮城県知事登録 第00000000号		

事務局使用欄（申請者は記入不要）

令和3年6月版

- a 申請される方の情報(住所／氏名／所在地／工事完了年月日)を記入してください。
- b 工事を行った箇所を補修工事ごとに記入してください。補修箇所が10個以上の場合、この書式集から該当の用紙をコピーして記入してください。(※番号は2枚目：11番～、3枚目：21番～としてください。)
- c 被災箇所の補修工事を確認された方の情報（建築士の場合には、該当する項目に加え d の欄を含む）を記入してください。
- d 確認者が建築士の場合のみ記入してください。

補修工事証明書

申請者	住所			
	氏名			
所在地				
工事完了年月日		平成	令和	年 月 日

補修工事を行った被災箇所

補修工事を行った被災箇所をすべて記入し、被災箇所数に応じて(別紙)補修工事内容確認書をご提出ください。

番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。	番号	被災箇所 ※被災した箇所を部屋毎に具体的に記入してください。
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

上記の被災箇所について、「住まいの復興給付金制度」の対象となる補修工事が行われていたことを証明します。

証明年月日		令和	年	月	日
確認を行った者	工事施工者名 または 建築士事務所名				社印
	所在地				
	電話番号	-			
	許可番号	※確認を行った者が工事施工者で、建設業の許可を受けている場合は、許可番号を記入してください。 建築業許可 <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通大臣 () 第 () 号 いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> () 知事 () 第 () 号			
	担当者名				

確認を行った者が建築士の場合は以下も記入してください。

確認を行った 建築士の情報	建築士免許	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士
	登録番号	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合)		
	事務所の 種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士事務所
	登録年月日		登録番号	

事務局使用欄(申請者は記入不要)

被災住宅を補修した内容(補修箇所を補修したこと)を証明する書類です。
被災箇所毎に1枚ずつ必要です。
作成の際は、ホームページから書式をダウンロードするか、書式を必要枚数分コピーして、申請する被災箇所毎に作成し、「補修工事証明書(前ページ参照)」と共に提出してください。(申請者が作成することはできません。)


記入見本

別紙 **補修工事内容確認書**


確認を行った者が記入。
※申請者は記入できません。

確認を行った者 (補修工事証明書の記入者)	氏名 設計 一郎 設計 a
被災箇所 (部屋毎に記入)	被災した箇所を具体的に記入してください。 1F リビングの床
被災状況	被災した箇所の状況を具体的に記入してください。 浸水による床の腐食
補修方法	補修工事の内容を具体的に記入してください。(例:1F寝室の内壁の張替え工事等) 床の貼替え工事

補修工事前


b

補修工事後


c

事務局使用欄(申請者は記入不要)

必要に応じて、この台紙をコピーしてご使用ください。

番号

1

d

*「補修工事証明書」の「被災箇所」に記載の番号を記入してください。
令和3年6月版

- a 被災箇所の補修工事を確認された建築士または工事施工者の方の記名押印と補修工事の内容(被災箇所/被災状況/補修方法)を具体的に記入してください。
- b 被災箇所の補修工事前の写真を貼ってください。
- c 補修工事が完了した写真を貼ってください。
- d 「補修工事証明書」の「補修工事を行った被災箇所」に記入した被災箇所の番号を記入してください。

必要に応じて、この書式をコピーしてご使用ください。

住まいの復興給付金制度

別紙

補修工事内容確認書

建築士記入書式

※申請者は記入できません。

確認を行った建築士	氏名	印
被災箇所 (部屋毎に記入)	被災した箇所を具体的に記入してください。	
被災状況	被災した箇所の状況を具体的に記入してください。	
補修方法	補修工事の内容を具体的に記入してください。(例:1F寝室の内壁の張替え工事等)	

補修工事前

補修工事前の写真を
貼付けしてください。

補修工事後

工事箇所がわかるように
補修工事後の写真を
貼付けしてください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

番号

*「補修工事証明書」の「被災箇所」に
記載の番号を記入してください。

令和3年6月版